

藤原広光 プロフィール



生年月日	1974年（昭和49年） 8月 27日
身長／体重	180cm / 75kg
最終学歴	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 博士前期課程修了
所属	株式会社フィット 代表取締役社長 サッカーロボ株式会社 代表取締役 奈良先端科学技術大学院大学「ベンチャー論」非常勤講師 (株)エスキャリア／(株)三聖トラストグループ 顧問
趣味・特技	サッカー／フットサル 歴30年以上 ゴルフ 平成26年3月コースデビュー（歴1年半でベスト82）
ポリシー	驕らない、卑屈にならない起業家精神

自己紹介文

大学院時代、ロボット工学及び人工知能を専攻し、研究テーマ「RoboCup」ロボットサッカーワールドカップ（人工知能が搭載されたロボットの大会）に日本代表として2年連続で出場。99'ストックホルム大会ではベスト8入賞を果たす。この研究テーマを自力で継続させるため「40歳でロボット会社の社長になる。開業資金10億円作る。」と目標を立てる。達成手段として「ベンチャー創業⇒株式上場」とし大学院卒業後社会人経験無く25歳で起業を決意する。

資本金ゼロからスタートした起業当初はこれまでの経験値から、ホームページ制作、イベント企画運営、モデルスクール講師、タレント／モデルのマネージング、塾講師、家庭教師など様々な活動をした。その最中父が、勤めていた会社が自主廃業となり職を失う。そんな父から「一緒に会社をやろう」と誘われ、父の同僚と共に3名で2001年11月有限会社フィット（資本金300万円）を設立する。

創業当初は、自主廃業となった会社の技術「日本語組版」を引き継ぎ、印刷業編集工程の効率化システムなどの受託開発業が主業となった。創業時から自ら、システムの営業・企画・立案・設計・開発・保守など全ての業務を一人で行い経験を積む。次第に社外から評価を受けるようになった。創業から4年目「受託開発業から脱却し自社プロダクトを持つ」をスローガンとし新しいビジネスモデル（ITソリューション）を構築する。

転機は2006年4月、構築したビジネスモデルが母校から評価され奈良先端技術大学院大学から大学発ベンチャー企業の認定を受けたこと。この年、本格的に株式上場を目指すため株式会社化（資本金3,000万円）と同時に父から代表取締役社長を引き継ぎ就任。就任後、2006年10月「池田銀行主催池銀ニュービジネス助成金地域起こし大賞」大賞受賞、2007年8月「経済産業省主催第2回ものづくり日本大賞」優秀賞受賞。これらの社外的評価を受け、2007年10月ベンチャーキャピタル3社から第三者割当増資による資金調達に成功。現在資本金1億円を超える企業となり、仲間（社員）と共に株式上場を目指している。

2015年6月、夢であったロボット会社も設立し、さらにビジネスに邁進する日々を送っている。

主なエンジニアシステムプロデュース

★は自身が立案から開発・保守まで担当

☆完全無人完全自動組版システム（商品名：Symform／SymCloud）

★マニュアル作成支援ASPシステム（商品名：SymManual 導入先：コベルコ・パナソニック 他32社）

★マニュアル配信システム（商品名：SymBrowser 導入先：オリックス・南都銀行・APA 他10社）

★e-Learningシステム（商品名：SymLearning 導入先：大阪ガスグループ 他3社）

★インターネット自動出版システム（商品名：SymBook／ぷりパブ／同人WEB／にこぷり）

☆ネット書店システム（商品名：SymStore）

★治験議事録管理及び公開システム（商品名：SymIRB 導入先：京都大学附属病院／新潟大学附属病院）

★シラバス管理／研究業績管理システム（導入先：奈良先端科学技術大学院大学／北里大学大学院）

その他多数